

薬の保管場所

今年は花粉も少なく、準備していた薬も保存しておくことになりそうですね。そこで、薬はどんな状態で保存すればいいのでしょうか？

薬は低温で乾燥し暗い場所に保管するのがいいのですが、だからと言って冷蔵庫に保管するのは考えものです。冷蔵庫から取り出した時、冷蔵庫で乾燥していたものが急に湿気を吸ってしまうからです。

散薬や錠剤カプセルなどは暗くて暑くならない場所であれば十分です。ただし、梅雨時は湿気に注意が必要な場合は乾燥材などを使う場合があります。

一方、冷蔵庫に保管しておかなければならない薬もあります。座薬類はほとんどで、一部の目薬やインシュリン注射剤などは冷蔵庫保管になります。ただしこの場合は必ず薬剤師の注意や容器に記載されていますので守りましょう。この場合、食品とキッチンと区別して、他の人が口に入れないように注意しましょう。

また、薬は高温多湿を嫌いますので、台所や洗面所は湯気が出る場合が多いところですので避けましょう。それに最も嫌うのが太陽光線で、強い光で変質する恐れがあるからです。

薬は有効期限まで安定した場所に置き、必要な場合に備えましょう。